

栃木県生活協同組合連合会 2020年9月度の活動報告

◇機関会議等

- 7日 第2回くらし部会とフードバンク学習会
- 14日 くらし部会学習会「種苗法について」
- 15日 第2回常務理事会

◇ネットワーク

- 14日 とちぎ消費者ネットワーク第2回幹事会
(くらし安全安心課消費者行政推進室との意見交換会)
- 24日 食の安全ネットワーク・学習会

◇行政関連

- 4日 小山市総合計画策定懇話会

◇被災地支援、防災、対策

- 9日 2020年度第2回オンラインセミナー
「近年の災害支援から、自生協の地域社会での役割を考える」

◇その他

- 9日 栃木放送番組審議会
- 14日 役職員学習会「種苗法について」
- 23日 中央地連運営委員会、県連活動推進会議
- 24日 栃木県労働者福祉協議会幹事会

<適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リソの活動>

- 4日 適格消費者団体連絡協議会
- 7日 事務局会議
- 14日 事例検討委員会

以上

県連活動

1. 機関会議

● 9月15日(火)、2020年度第2回常務理事会を開催

- 【議決事項】 第1号議案 次年度の活動計画と決算報告承認の件
第2号議案 議決事項の変更について
第3号議案 2021年度会費決定の件
第4号議案 第52回通常総会の日程決定の件
第5号議案 第3回定例理事会(10/13)附議議案決定の件

- 【協議事項】 (1) 月度定例報告
(2) 今後の主なスケジュール
1) 理事長専務会議 10/16→中止
2) 新年賀詞交歓会 2021年→中止
3) 報道代表者との懇談会 2021年3月～4月実施予定→当面延期
4) 第3回定例理事会→リアル開催 / 第4回定例理事会→みなし理事
5) 協同組合交流会→中止
6) 沖縄戦跡視察研修 2021年3月→延期

- 【報告事項】 自民党栃木県支部に「政策懇談会要望書」を提出

● 9月7日(月)、第2回くらし部会、フードバンクを必要とする社会背景について学習会を開催

■演題：フードバンク利用者の状況-フードバンクうつのみや
相談記録より見えた社会（暮らし）の現状について

■講師：独立型社会福祉士事務所とちぎボランティアネットワーク
フードバンクうつのみや理事 小澤 勇治 氏

コロナ禍で、フードバンクの需要が大幅に増加する等、格差や貧困等の問題が顕在化しています。小澤氏より伺った「フードバンクうつのみや」での事例は想像を超える深刻さでした。

コロナ禍で失業し、家賃を滞納して路上生活になる。突然の怪我で働けず貯金が底をつく。家族の介護で離職し困窮する。DV被害でPTSDになり引きこもる等々、誰の身にいつ起きてもおかしくない事ばかりで「普通の暮らし」の脆さを、改めて突きつけられた思いでした。

また、フードバンクは「食料を提供する」だけの場ではなく、支援者ひとり一人の様々な事情を丁寧に聴き取り、寄り添い、もう1度希望をもって生きられるよう、ともに生活再建を考えていく重要な場でもあります。取組み継続のための支援に加え、場の存在すら知らず、支援に手が届かない人も多くいると考えられることから、広報活動の必要性にも気づかされた学習会となりました。



● 9月14日(月)、くらし部会、種苗法の改訂について、学習会を開催(参加者41名)

■演題：種苗法改定問題を考える

■講師：宇都宮大学農学部 農業経済学科 教授 秋山 満 氏

先の種子法廃止がそうであったように、種苗法改正問題も命に直結する食の安全を司る重要な法案でありながら、多くの国民の関心が集まらないうちに、審議不十分なまま改正が進められようとしています。これによって守られるのは多くの国民の権利なのか、それともごく一部の受益者なのか。

私たちひとり一人が学び、賢くなる必要がある中、秋山先生より問題の本質を具体的にご教授いただき、この重要性を参加者全員で認識することができました。



3. ネットワークの取り組み

(1) とちぎ食の安全ネットワーク

● 9月24日(木)、生協役職員を対象に学習会を開催しました。参加者42名

- ・講演：「ゲノム編集技術応用食品をめぐる話題」
- ・講師：宇都宮大学 名誉教授 菅原 邦生 氏

ゲノム編集技術、ゲノム編集技術を適用した作物と家畜、我が国と諸外国の規制、社会的受容について等、様々な知見を基にお話しいただきました。

ゲノム編集を食品に応用する技術は、ここ15、16年の新しい技術ということもあり、まだ未解明の事象も多く、安全であると言い切るには時期尚早の段階です。実用化にあたっては「政府は拙速にことを進めるのではなく、環境影響や安全性の検証について研究を重ね、多様な利害関係者の意見を尊重し、社会的受容を円滑に進める方策を充実すべきである」と述べられました。また、委員会等で出た消費者の意見が政策に反映されていないことから、国会の審議、法の充実も必要とされています。



(2) とちぎ消費者ネットワーク

● 9月14日(月)、第2回幹事会(県民生活部くらし安全安心課消費者行政推進室との意見交換会)

毎年実施している、栃木県の消費者行政推進室との意見交換会を開催し、県からのご報告と、質疑応答を行いました。その他「とちぎ消費者カレッジ」の進捗状況報告、参加団体の活動報告等を行いました。

消費者行政推進室との意見交換会内容	
報告	栃木県県民生活部 くらし安全安心課 消費者行政推進室 室長 塩原 千恵子 氏 副主幹 飯塚 秀一 氏 主事 池尻 俊平 氏
○令和2(2020)年度消費者行政推進室 事務事業の概要	
○令和元(2019)年度消費生活相談状況について	
①相談件数 ②件数の推移 ③年代別の苦情相談件数 ④男女別の苦情相談件数	
⑤商品・サービス別苦情相談件数 ⑥特徴的な相談 ⑦苦情相談の処理状況	
参考…新型コロナウイルス関連の相談(2020年1月～4月 受付分)	

2. その他

● 9月23日(水)、第2回中央地連運営委員会、県連活動推進会議(WEB会議)

○中央地連運営委員会の主な議題

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大を受けた生協の10課題に関する報告
- ・ 全国方針検討集会の企画概要、および三生協連賀詞交歓会の中止について
- ・ 食料・農業問題検討委員会報告について
- ・ 2020年度平和活動の取り組みについて
- ・ 2020年7月豪雨復興支援の取り組みについて
- ・ 東日本大震災復興支援の取り組みについて
- ・ ICA2020-2030戦略計画について
- ・ 「令和元年度食品産業における取組慣行の実態調査報告書」について
- ・ 共済連報告 他

○県連活動推進会議

- ・ JCAビジョンへの意見募集
- ・ 医療生協・大学生協への支援の進め方
- ・ 「特商法・預託法」の改正に向けた運動
- ・ 都県生協連交流(コロナ禍による地域生協以外への経営影響、県連活動について等)

防災・被災者支援・緊急対策

1. 防災の取り組み

- 9月9日(水)、2020年第2回オンラインセミナー「近年の災害支援から、自生協の地域社会での役割を考える」に参加(日生協主催、WEB会議)

コロナ禍の今、被災地外からの支援の在り方に加え、地域内の被災者支援活動も課題になっています。近年の災害に対して、生協や都道府県連が地域社会で果たしている役割や、平時の備え等について、報告とグループセッションを行い、できることを考え交流しました。

- 報告 ・生活協同組合くまもと 代表理事 副理事長 迫 和久 氏
- ・長野県生活協同組合連合会 事務局長 中谷隆英 氏
- ・エフコープ生活協同組合

- セッションテーマ・・・「もし、今、災害が地元で起これば、自生協・自都道府県連は地域社会でどんな役割を担いますか」「その役割を果たすために、日常的にどう備えるべきでしょうか」

栃木県生活協同組合連合会 2020年10月度、11月度の活動予定

2020年9月30日(水)
栃木県生活協同組合連合会

2020年10月度予定	
1日(木)	小山市総合計画策定懇話会 第2回中央地連組合員活動委員会 MCA 防災無線訓練(日生協・栃木県)
8日(木)	食の安全に関するリスクコミュニケーション(県、宇都宮市、食の安全 NW 共催) とちぎ消費者カレッジ(作新学院大学)
12日(月)	栃木県消費生活安定対策審議会
13日(火)	第3回理事会
14日(水)	栃木県次期プラン策定懇談会
15日(木)	とちぎ消費者カレッジ(栃木県農業大学校)
19日(月)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク理事会
24日(土)	第2回協同組合の地域共生フォーラム (JCA 主催)
26日(月)	公正取引委員会 有識者懇談会
28日(水)	日生協大規模災害対策協議会 WEB 会議
30日(金)	栃木県農政審議会
2020年11月度予定	
5日(金)	消費者の集い
9日(月)	第3回くらし部会
17日(火)	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
18日(水)	適格消費者団体 NPO 法人とちぎ消費者リンク「消費者契約トラブル 110 番(電話相談)」
26日(木)	栃木県労働者福祉協議会幹事会
12/5(土) ECO テック & ライフとちぎ 2020	